

教科・領域等	中学校数学
授業タイトル・単元名等	図形 合同の証明
対象学年	中学校2年生
実施場所	本校 コンピュータ室
ICT活用授業の内容	<p><授業のねらい></p> <p>今日の生徒は、問題の中でどの図形において、どの条件を用いて証明すればよいのかを判断できないことが多い。</p> <p>これは、1つ1つの図形を頭の中で混同して考えているからである。そこで、その混同をなくしたいと考える。</p> <p><授業の流れ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・問題を提示する。(教科書) <li style="text-align: center;">↓ ・一度、生徒に問題を解かせる。(ノート) <li style="text-align: center;">↓ ・問題の必要な図の部分を意識させるため、色をつける。(P. P) <li style="text-align: center;">↓ ・証明の問題を穴あきで提示し、問題のレベルを落とす。(P. P) <li style="text-align: center;">↓ ・穴あきの問題を解かせる。(ノート) <li style="text-align: center;">↓ ・必要な図だけをピックアップし、穴埋めをすることにより、解説を行う。(P. P) <li style="text-align: center;">↓ ・色やピックアップが無いままで、類似問題を解かせる。(P. P、ノート) <p><ICT活用のねらいと授業での位置づけ></p> <p>パワーポイント(P. P)で、問題に色をつけたり、教えた図形だけをピックアップしたりする。そうすることにより、生徒に視覚的に訴え、図形を頭の中で混同しないようにする。</p> <p>また、ただ単に板書をしたり、教科書を見たりしているだけではないので、授業をより積極的に受ける足がかりにもなると考えることができる。</p> <p>あくまで教科書、ノートが中心だが、補助教材として活用したいと考える。</p>
活用するICTメディア	パワーポイント、コンピュータ
活用するコンテンツ等	特になし